

平成24年6月8日(金)に次世代の土木技術者育成を目的とした学生フォーラム「連動する巨大自然災害の減災対応への連携」が土木学会中部支部タスクフォースの主催で開催されました。

本フォーラムは、特別講演として名古屋大学辻本教授と名城大学柄谷准教授による講演に始まり、名古屋大学OBの舟橋設楽ダム工事事務所長がアドバイザーとして加わって、4名の名大生(奥岡さん、後藤さん、笹田さん、畔柳さん)により「巨大自然災害に備える防災リーダーについて」をテーマにディスカッションを行いました。

当日は、学生や一般の方など90名が来場し盛大な会となりました。来場した学生からは「巨大自然災害について考える機会になった」との声が寄せられました。

概要

- 開催日 : 平成24年6月8日(金)13:30~16:00
 開催場所 : 名古屋大学東山キャンパスES総合ホール
 参加者 : 司会 三室碧人(CE学生委員会代表)
 来場者 : 90名
- 【内容】
- ◇特別講演1「中部圏が立ち向かう巨大災害」
 連動する災害プロセスとそれに立ち向かう連携
 名古屋大学 辻本教授
 - ◇特別講演2「被災者の自立再建に向けた協働と実践」
 陸前高田市仮設住宅における自治会発足・運営を通じて
 名城大学 柄谷准教授
 - ◇パネルディスカッション
 「巨大自然災害に備える防災リーダーについて」
 講演者・コーディネーター 辻本 哲郎(名古屋大学 教授)
 講演者・アドバイザー 柄谷 友香(名城大学 准教授)
 アドバイザー 舟橋 弥生(名古屋大学OB・
 設楽ダム工事事務所長)
- 学生パネリスト
 奥岡桂次郎(CE学生委員会副代表)
 後藤 梓
 笹田 翔
 畔柳 諒輔 (敬称略)
- 主催 : 中部地方巨大災害タスクフォース
 共催 : CE学生委員会、(社)土木学会中部支部
 国土交通省中部地方整備局
 協力 : 名古屋大学土木系教室、名古屋大学減災連携研究センター
 中部地区自然災害科学資料センター、(社)中部建設協会



パネルディスカッションの様子



司会: CE学生委員会(三室氏)



辻本教授による講演



柄谷准教授による講演



パネルディスカッションの様子



コーディネーター 辻本教授(名古屋大学)
 アドバイザー 柄谷准教授(名城大学)
 舟橋所長(名古屋大学OB・
 設楽ダム工事事務所長)



学生パネリスト
 左から、畔柳さん(B3)、笹田さん(M1)
 後藤さん(D1)、奥岡さん(D3)



討論後の来場者(学生)からの質問

パネルディスカッションでは、学生から災害に備えるためには普段からのコミュニケーションが大事であり、普段から様々な手段(集会やSNS等)を用いてコミュニケーションを図ることから始めたいとの意見がありました。